



アルメリア バレリーナ・シリーズ

学名: *A. pseudarmeria*

種子粒数の目安: 1,000 から 1,100 粒/グラム

開花特性と要因

- 初年開花の特性を有する宿根品種
- 日長時間との関係ではデニュートラル
- 低温処理(バーナリゼーション)は不要
- 春(早春)に開花する品種

プラグ生産ステージ

培地

水はけがよく、ピート主体の新しいプラグ用培地を使用する。培地の pH は 5.8 から 6.2、また初期培地の養分は中庸(EC: 0.75 mmhos/cm(1:2))とする

播種

288 穴、またはそれよりも大きな容積のトレイに 2 から 4 粒播種する。播種後は覆土しない

ステージ 1 - 発芽日数は概ね 3 から 6 日

地温: 16 から 18°C

光条件: 発芽時、光はオプション(任意)

水分: ステージ 1 では、水分レベルをやや湿潤(level 4)で維持する

湿度: 幼根が発生するまでは相対湿度を 95 から 97%とする

ステージ 2

地温: 16 から 18°C

光条件: 26,900 ルクス(2,500 f.c.)を上限とする

水分: 水分レベルを少し下げて、やや湿潤(level 4)から中庸(level 3)の範囲で、根が培地中をしっかりと行き渡るように促す

肥料: リン酸の低い硝酸態の肥料をレート 1(100ppm (N)以下、EC:0.7 mS/cm 以下)の濃度で与える

ステージ 3

地温: 16 から 18°C

光条件: 26,900 ルクス(2,500 f.c.)を上限とする

水分: 標準/中庸(level 3)として、やや乾燥と多少水分の残る間で管理する

肥料: 肥料の濃度をレート 2(100 から 175ppm (N)、EC: 0.7 から 1.2mmhos/cm)に上げる

矮化剤: 概ね不要

ステージ 4

地温: 16 から 18°C

光条件: 53,800 ルクス(5,000 f.c.)を上限とする

水分: ステージ 3 と同様

肥料: ステージ 3 と同様

鉢上げから出荷まで

コンテナサイズ

10 から 13cm ポット: 1 本(1 プラグ)植え

18cm ポット/コンテナ: 3 本(3 プラグ)植え

※ 9cm ポットによる 1 本植えも可能

用土(培地)

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。培地の pH は 5.8 から 6.2、初期養分は中庸(EC: 0.75mmhos/cm)とする

温度

昼間温度: 16 から 18°C

夜間温度: 10 から 14°C

※ 春先は、低温や降霜を避けるため、施設内やトンネルハウス等で栽培する

光条件

補助的な電照等は不要である

日長条件との関係

バレリーナ・シリーズは日長にはニュートラルである

かん水

標準/中庸(level 3/培地の色がブラウンないしダークブラウン)からやや乾燥(level 2/培地の色がライトブラウン)の範囲を維持する。バレリーナは比較的、乾燥には耐える品種である

越冬する作型においては、根への損傷や防疫上の点からも、寒冷期の間は乾燥ぎみの管理を続ける

肥料

バレリーナ・シリーズではレート 1 からレート 2(70 から 175 ppm(N)、EC: 0.5 から 0.75mS/cm(1:2))の中位からやや薄い濃度の肥料を与える

※ 越冬後、春先には株の生育を促すやや濃度の高い特別の肥料(150 から 175ppm(N)、EC: 1.0 から 1.2mS/cm)を与える

矮化剤(PGR)

矮化剤は不要である

ピンチ

ピンチは不要である

平均的な生産期間

播種から移植まで(288 穴トレイ): 5 から 6 週

【一年生の作型期間】

移植から開花まで: 12 から 15 週

播種から開花まで(288 穴トレイ): 16 から 21 週

【越冬による作型期間】

移植から開花まで: 28 から 36 週

播種から開花まで(288 穴トレイ): 32 から 40 週

【春生産の作型スケジュール】

播種: 1月から3月中旬 → 自然開花: 5月中旬から6月

【越冬生産の作型スケジュール】

播種: 7月下旬から8月下旬 → 自然開花: 翌年5月下旬から6月上旬

※ 越冬生産による株は質がよく、とくに分枝が多く上がってくるので(株あたり 20 から 30 枝)、花数も多くなる

病例等

害虫: 育苗段階ではコバエ(キノコバエなど)に注意

病気: 真菌病(コレトリカムなど)

生理障害:

温度条件が極端に低いと、葉色が赤紫色化し、葉に萎縮などの障害が現れる

定植場所や配置について

- バレリーナ・シリーズは初年開花し、初年から見事なガーデンパフォーマンスが期待できる宿根品種。USDA 耐寒性指標はゾーン 7-9(最低温度マイナス 18°C)
- 手入が容易で耐塩性もある品種

注意点:

- 同品種を生産するにあたって、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてご利用ください。生産された植物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります
- 殺虫・殺菌剤、また矮化剤の使用についての記載はあくまでもガイドラインであり、必ず使用方法を十分にまた正しく読み、使用者の自らの責任のもとでそれに則った正しい使用方法とるようにしましょう

EC 値について: EC(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、条件によっては適合し得ない場合もあります。